

ゴルフ部紹介

歯学科4年 仲井 槇 吾

はじめまして、ゴルフ部部長の仲井です。今回ゴルフ部の部活動を紹介させていただくことになりまして少し緊張気味です。さっそく活動紹介をしたいのですが、このニュースを読まれている歯学部の方の中にもゴルフをされたことのない方もおられると思います。そこでゴルフに関してまずは簡単に説明させていただきます。

ゴルフの説明

ゴルフはゴルフボールをクラブという道具で打ってホールとよばれる穴に入れるスポーツです。1回ホールに入れるまでを1ホールとよび、18ホールを終えると1ラウンド（1試合）になります。1ホールの度に打った数を記録していき、どれだけ少ない合計打数で18ホールを終えるかを選手は競いあいます。

イギリス出身の競技で、審判などがおらず選手が各自でルールを守らなくてははいけないので「紳士のスポーツ」とも呼ばれます。

自己紹介

ゴルフ部は歯学部の学生だけで構成されていて、正式名称は「新潟大学歯学部ゴルフ部」になります。2012年は新入生が2名入部して、現在女性部員11名、男性部員6人の計17名で活動してい

ます。デンタル優勝者から初心者まで目標も実力も様々な部員が、各自の実力を伸ばそうと練習を行っています。現在ゴルフ部には共有のクラブセットや、スイングのフォームチェック用のカメラなど機材もあります。

普段の練習

大学には専用の練習場所がないので、ゴルフ練習場と毎年契約して普段はそのゴルフ練習場で活動を行っています。場所は県庁の近くにある「日経ゴルフガーデン」の2階。練習は午後五時半から八時ごろまで、月曜日と水曜日の週2回です。練習内容は基本的に一人百球の打ちっぱなしが共通です。共通の練習に関してはコーチの石田先生が一人一人ご指導して下さりますので効率よく上達できます。

ボールが打った音を響かせながら綺麗に飛んでいくと大変気分が良く、爽快です。打ちっぱなし以外にも素振り、パター、アプローチなどは各自で練習を行っています。忙しい中で5年生以上の上級生もボールを打ちにきます。

練習が終わった後は部員みんなで食事に行きま



みの一つになっています。

年間通して桜の咲く4月からゴルフのオフシーズンごろの寒くなる11月まで活動しており冬はお休みしています。

またゴルフ部では随時新入生を募集しています。興味のある方は気軽に僕やゴルフ部員にお声かけください。

試合

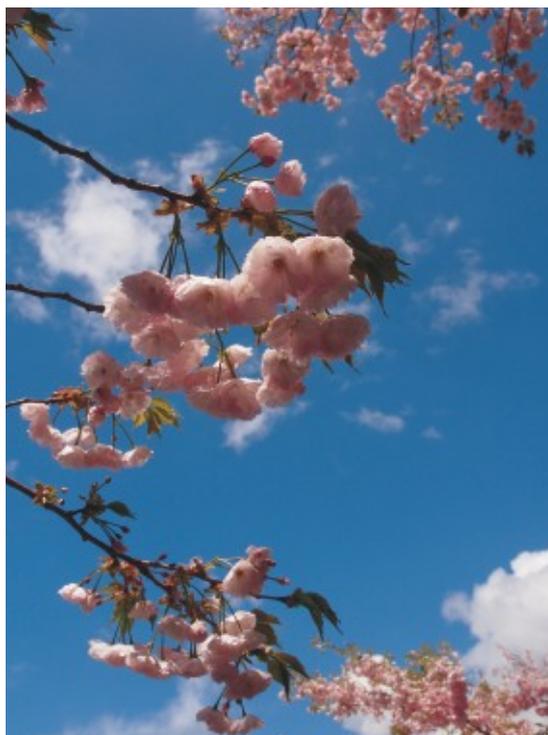
新潟での試合としては、ゴルフ部OBの先生方や歯学部内の先生方を招いて行う学内戦を毎年行っています。実際に試合に出てみるといろいろな決まりがゴルフにはあり、一緒に周ってくださる先生方からマナーやルールについて教わりませう。またゴルフの事だけでなく歯学部の学生としての進路や勉強の話が聞け、部員とOBの方との交流の場にもなっています。中高年になっても行えるゴルフならではの行事だと思ひます。

もちろん夏には歯科学学生総合体育大会がありま

す。ゴルフ部では毎年デンタルに出場する選手だけで大会に向かひます。2011年は竹澤選手が見事女子個人の部で優勝を飾って、久しぶりの祝勝会を行えました。また他の選手も気温が30度を超える中でベストを尽くして頑張ってきました。今年2012年はさらに南の鹿児島で開催されますので暑さに負けず試合に臨みたいと思ひます。

OB、関係者の方々へ

ゴルフ部のOB会は長い歴史があり、20年以上前の21期から続いています。OB会の方々には毎年デンタルの際に費用や道具など毎年多大なるご支援を頂いておひます。ありがとうございます。さらにOB会の方々はもちろん、顧問の高木先生、元顧問の大橋先生、コーチの石田先生、OB会の取りまとめを行っている重谷先生、山中先生などの方々にもこの場をお借りしてご支援に対して改めて感謝を申し上げます。これからもゴルフ部をよろしくおひます。



スキー部の活動紹介

歯学科4年 児玉匠平

初めに

歯学部ニュースをお読みの皆様、お世話になっております。この度「歯学部のクラブ活動紹介」の中で僕たちスキー部紹介の貴重な機会を頂きまして、大変ありがたく存じております。ところで皆様は新潟なら雪国、雪国のスポーツならスキーを思い浮かぶ方も少なくないかと思います。実際に「新潟に来たならスキーをしよう!」という文句で例年新部員の勧誘を行っているのですが、なかなかどうしても他の部活の影に埋もれがちなのが実情です。この場をお借りしてスキーの面白さが少しでも伝わればと僣越ながら筆を取らせていただきます。

部活概要

僕たちは新潟大学歯学部スキー部として、現在17名という決して多くはないメンバーながらも「楽しく滑る!」をモットーに日々活動しております。春から秋にかけてのオフシーズンの活動は新入生を招いての春のお花見、6月にはスキー用品の新作展示販売会での新入生のユニフォーム購入が恒例行事で、それから冬までは不定期に集まって親交を深めております。スキー部は部員の多くが様々な部活と兼部しているのが特徴で、弓道部なら弓道、バドミントン部ならバドミントン、

手話サークルなら手話（他にも多数）とそれぞれの充実したクラブ活動を送っております。オフシーズンのスキー部員はこうしてスキー以外に勤しむのが大多数です。それも良いでしょう。しかしながら12月から始まるスキーシーズンともなれば、皆それとは打って変わってスキーに没頭し、年2回ほどの合宿練習と3月に行う全国歯学部総合体育大会（通称“デンタル”）が活動の中心となります。特に大会及びその直前合宿という、例年9日間にも及ぶ厳しい練習で部員は心身共に鍛えられ、部員の団結力は強まります。

スキーについて

ここでスキーの内容について軽く触れさせていただきます。我がスキー部は競技スキー（アルペン）を活動の主としており、ゲレンデに旗門（ポール）を立て、その距離に応じて長いものから「SG」、「GS」、「SL」の3種目があり、立てられた旗門（ポール）の間をいかに速く滑り降りるかで順位を決めるタイムレースです。アルペンスキーはゲレンデで滑る楽しさ以外にスピードを競う、つまり競技スキーの楽しさがあります。大会上位者では約時速100kmものスピードがでるスリリングな競技でもありますし、スピードは出なくても細かなターンをリズムカルに繰り出すテク



ニックを競うのも一興でしょう。スキーはレジャーという印象、つまり遊びの要素が強いと考える方もおられるかもしれませんが、しかしアルペンスキーは皆が競い合い技術を磨いていく格調高いスポーツであることを強調したいと思います。

私の目線から

我が部では現在スキー上級者から初心者まで、様々な部員が技術上達を目指して練習していますが、近年では初心者スキーヤーの割合が増えてくる傾向にあります。何を隠そう現主将である僕自身大学からスキーを始め、自分で止まることもできないような全くの初心者でした。それが今では最低限の滑走ができるくらいまで上達することができました。全ては1年生のころの合宿による集中練習のおかげだと思っています。(恥ずかしながら後輩の方が僕より断然上手ですが。)[楽しく滑る!]

というモットーとオンオフのメリハリの付いた活動スタイルだからこそ、初心者でも十分楽しむことのできる部活なのです。今後もスキーを楽しむ精神は変わることなく受け継がれていくと思います。また上級者の減少を踏まえ、今シーズンはメンバーの技術強化の年として昨年からの練習の質向上と、他大学との合同練習などの組み込みを考えております。さらなる躍進を目指して精進して参る所存でございます。

最後になりましたが、いつも大変お世話になっております顧問の福井先生そしてOB・OGの先生方、部活を支えてくれている先輩後輩、部活に理解を示してくれる両親に感謝の意を表して、締めくくらせて頂きます。スキー部をこれからもよろしく願い申し上げます。

